



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月18日

1

事業紹介

P.02

2

事業の特徴とつよみ

P.06

3

2020年3月期 第2四半期 決算概要

P.19

4

中期経営計画の進捗

P.24

参考資料

P.31

# 1 事業紹介

2. 事業の特徴とつよみ
  3. 2020年3月期 第2四半期 決算概要
  4. 中期経営計画の進捗
- 参考資料

# 1-1. 事業セグメント紹介

## コンクリート事業

### 事業内容:

マンホール、ヒューム管、ボックスカルバート等のコンクリート二次製品の製造・販売、その関連商品の販売、これら製品の据付工事、並びにメンテナンス



### 事業会社:

(連結子会社)

**ゼニス羽田、ホクコン、ゼニス建設**

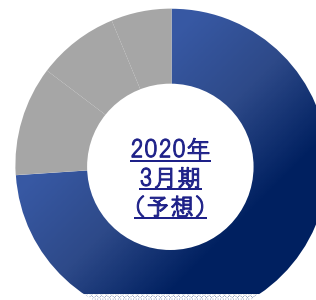
ホクコンプロダクト、北関コンクリート工業、ユニバーサルビジネス企画  
東北羽田コンクリート

(持分法適用関連会社)

大東ハネダ、鶴見コンクリート

### ■売上高/構成比

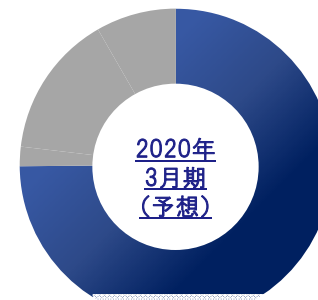
(単位:百万円)



2020年  
3月期  
(予想)  
27,360 百万円  
74%

### ■セグメント利益構成比

(単位:百万円)



2020年  
3月期  
(予想)  
2,980 百万円  
75%

※1. セグメント利益は、セグメントに帰属しない全社費用をセグメントに配分しない数値を記載しております。  
※2. セグメント利益構成比は、セグメント利益の合計値に占める比率を記載しております。

## パイル事業

### 事業内容:

遠心カプレストレスコンクリートパイルの製造・販売、並びに杭打工事

### 事業会社:

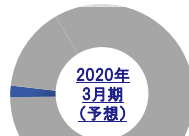
ホクコンマテリアル

### ■売上高/構成比



2020年  
3月期  
(予想)  
4,200 百万円  
11%

### ■セグメント利益構成比



2020年  
3月期  
(予想)  
80 百万円  
2%

## 防災事業

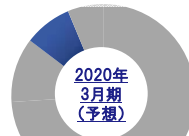
### 事業内容:

落石防護柵等の防災製品の製造・販売、関連商品の販売、並びに設置工事

### 事業会社:

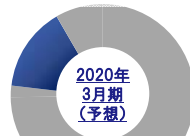
ゼニス羽田、ゼニス建設

### ■売上高/構成比



2020年  
3月期  
(予想)  
3,120 百万円  
8%

### ■セグメント利益構成比



2020年  
3月期  
(予想)  
590 百万円  
15%

## その他事業

### 事業内容:

- セラミック製品の製造・販売及び機器レンタル
- RFID(非接触タグ)の販売
- コンクリートの調査・試験
- システム開発・販売
- 不動産の賃貸等

### ■売上高/構成比



2020年  
3月期  
(予想)  
2,320 百万円  
6%

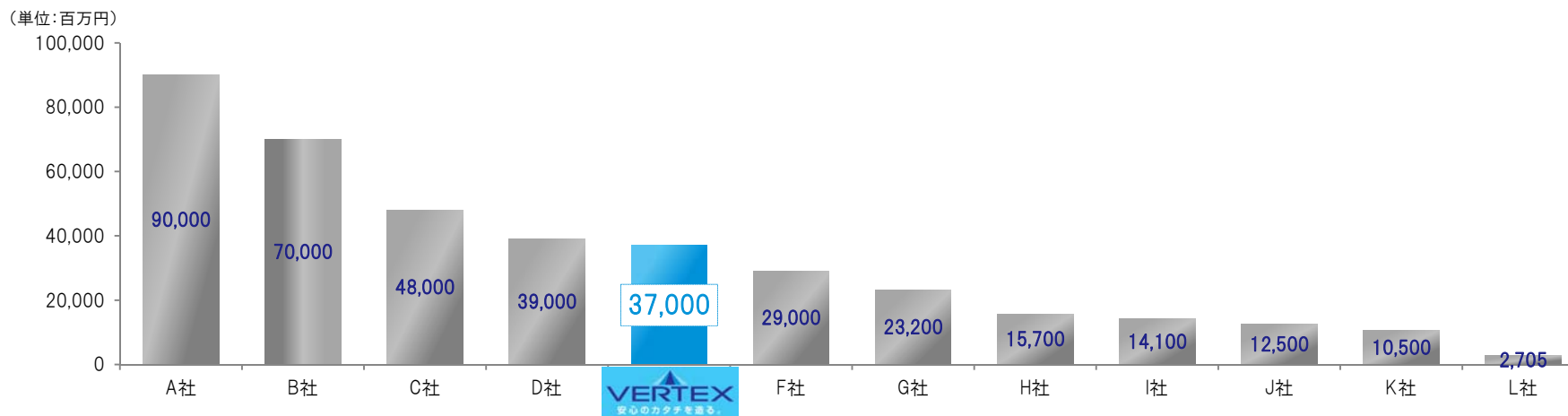
### ■セグメント利益構成比



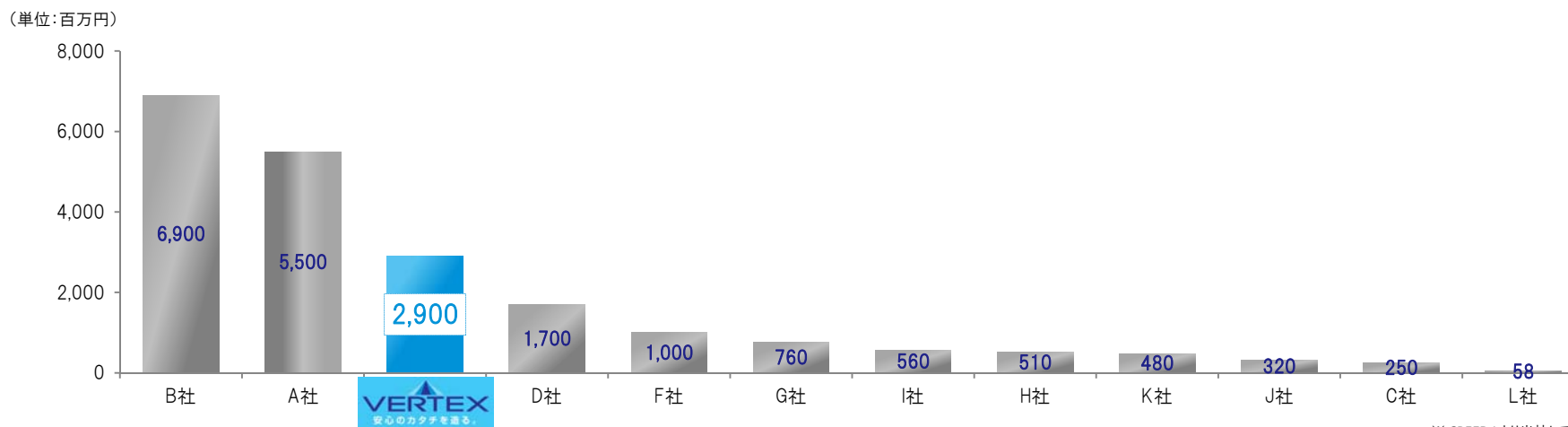
2020年  
3月期  
(予想)  
330 百万円  
8%

高い技術力を活かしたビジネスモデルにより、業界内でも高い営業利益を誇る

■各社2020年3月期の売上高予想値比較



■各社2020年3月期の営業利益予想値比較



※ SPEEDAより当社にて作成  
 ※当該会社の決算時期が3月以外の場合は、直近の決算時期を掲載

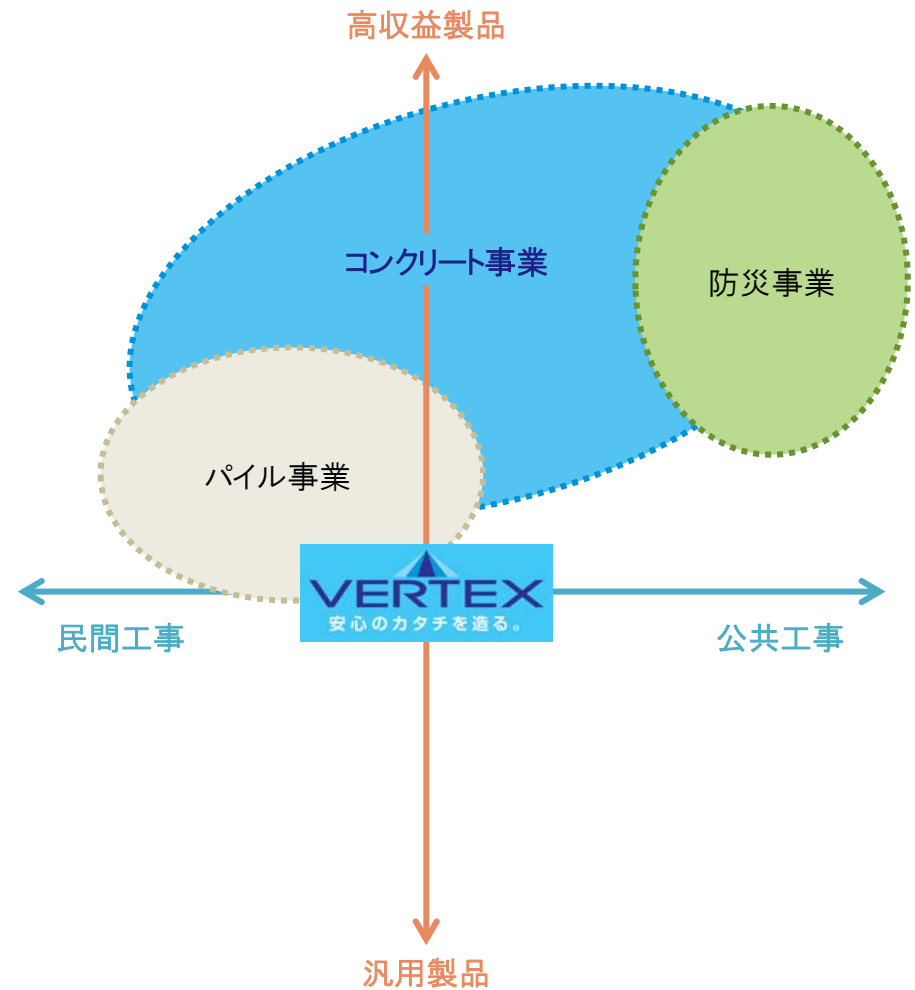
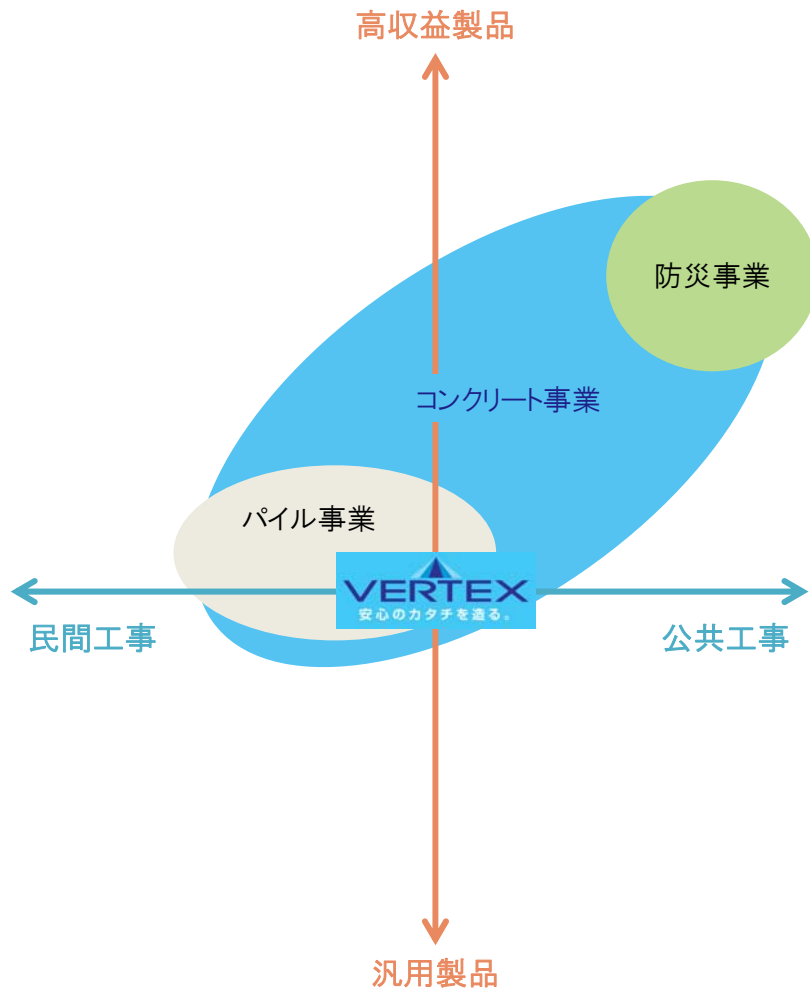
# 1-3. 主要セグメントプロット図

2019年5月



目標

## 3年後の目指す姿



1. 事業紹介

## 2 事業の特徴とつよみ

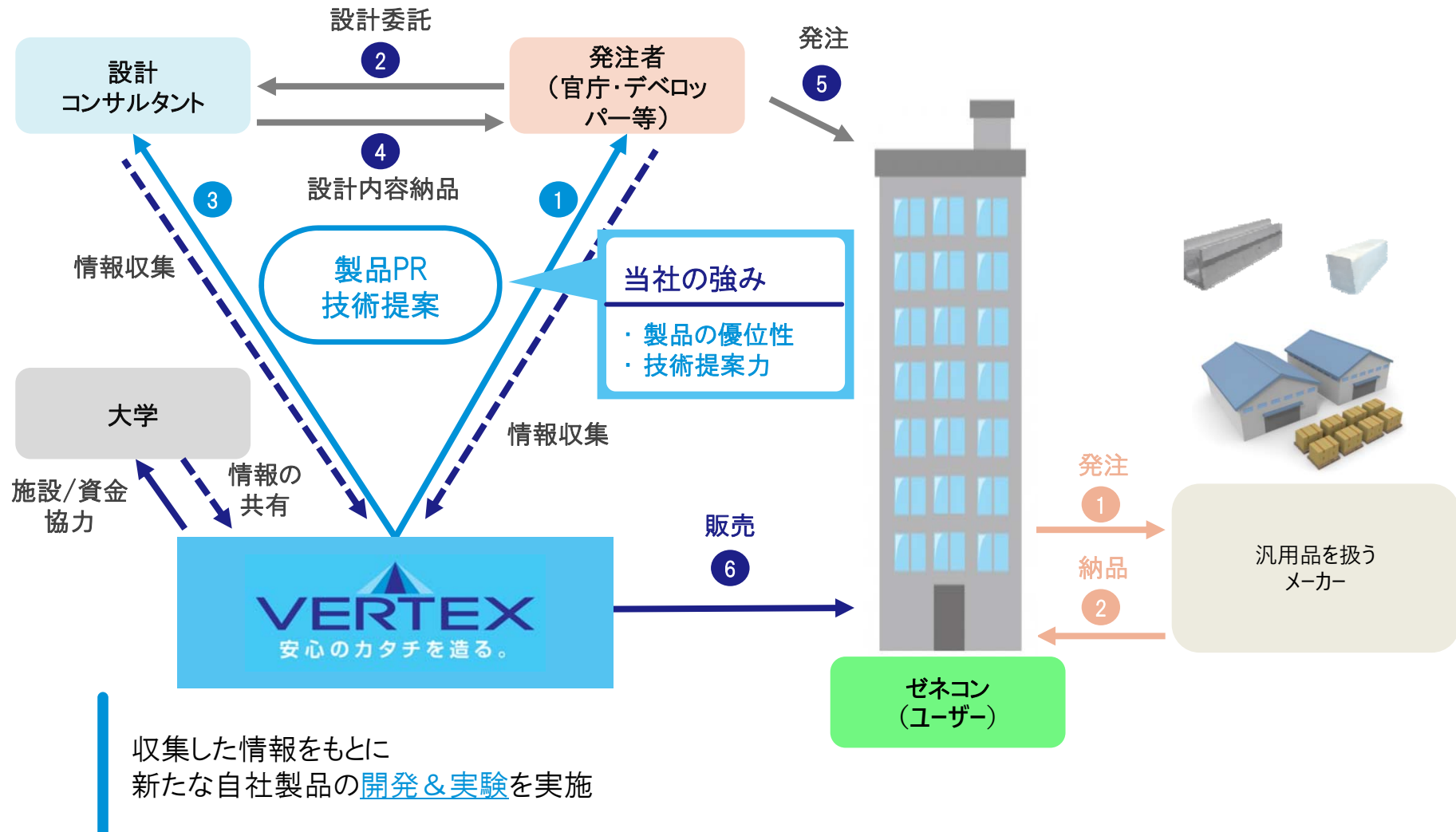
3. 2020年3月期 第2四半期 決算概要

4. 中期経営計画の進捗

参考資料

## 2-1. 当社のビジネスモデル

設計段階から製品PRや技術提案を行うことにより  
価格競争になりにくい独自のビジネスモデルを構築





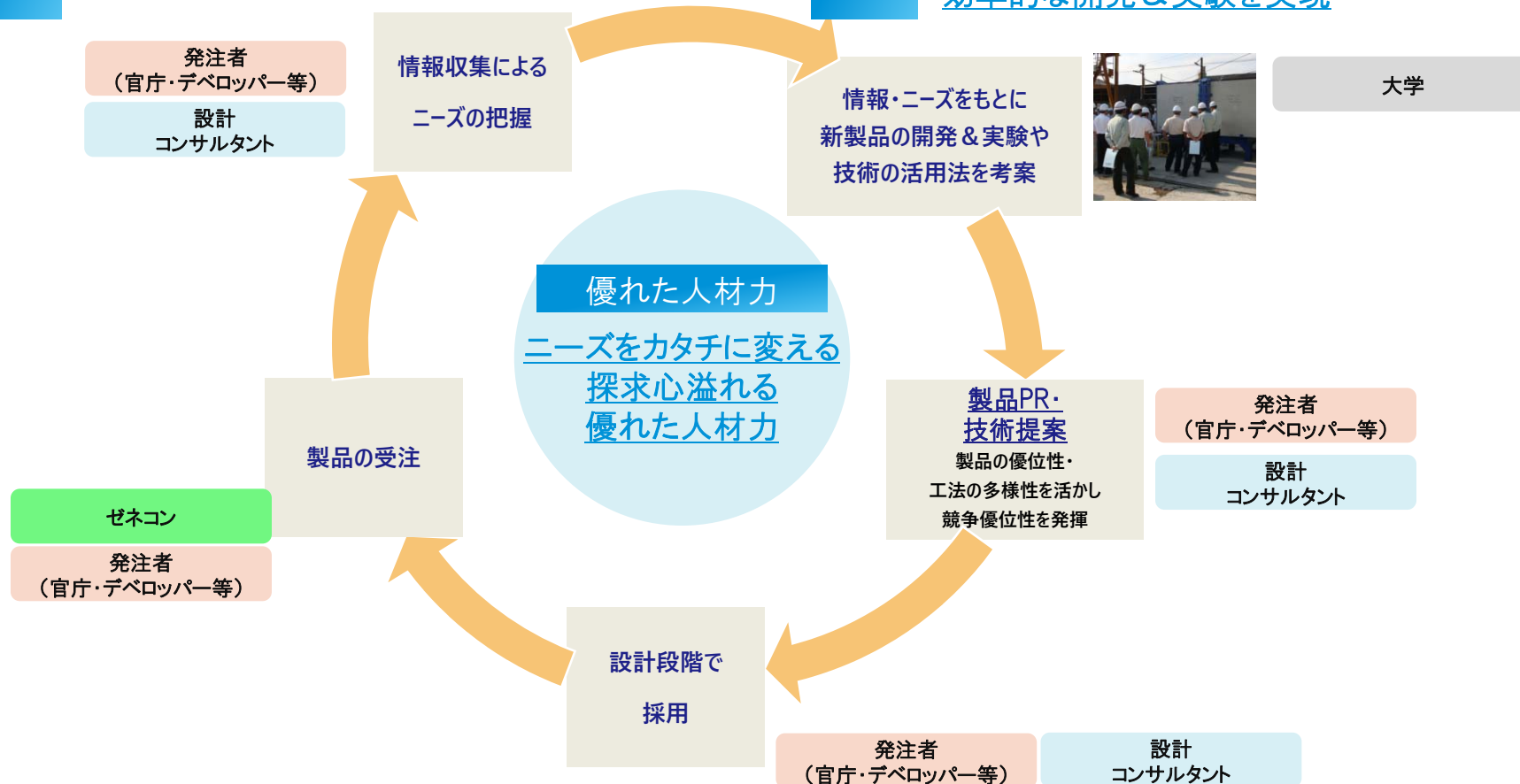
当社の強みである「製品の優位性」「技術提案力」を支える3つの要因

情報  
収集

設計コンサルタント・官庁から  
情報を収集、川上のニーズを  
的確に把握

開発  
実験

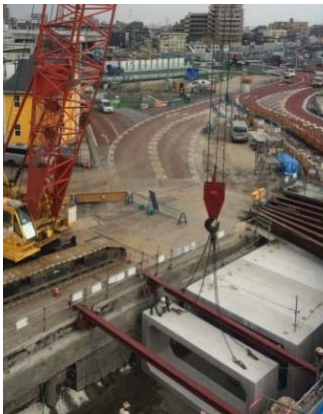
情報・ニーズをもとに新製品の  
開発&実験や技術の活用法を考案  
大学と産学連携を実施、  
効率的な開発&実験を実現



浸水対策事業

下水道事業(社会資本整備)

# 「浸水から守る」



下水や雨水を流す管路



マンホールのふたの下



公共施設の地下

No.1製品



ボックスカルバート



ヒューム管

No.1製品



マンホール  
(円形)

No.1製品



マンホール  
(矩形)



落差マンホール

No.1製品



地下  
雨水貯留施設

道路事業

# 「道路を造る」



トンネル



大型アーチ部材  
(トンネル用)



高速道路



プレキャスト製  
防護壁

# 「無電柱化を図る」



(施工前)



(施工後)

街の無電柱化工事



電線地中化用部材  
CC・BOX



メンテナンス事業

# 「長寿命化を図る」

老朽化した石積護岸



(高耐久性レジンコンクリートパネル  
によるライニング施工後)



摩耗した固定堰(頭首工)



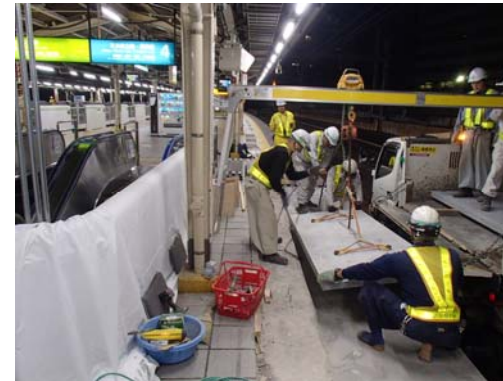
(高強度繊維コンクリートパネル  
によるライニング施工後)



鉄道事業

# 「転落を防ぐ」

駅のホームドア対応床板設置工事



(施工後)

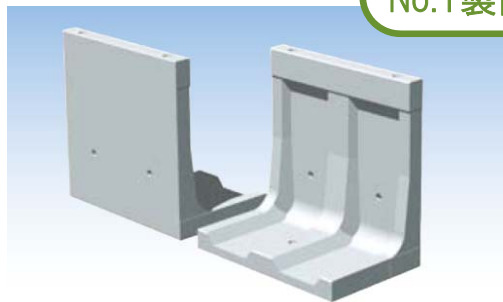


住宅・開発

# 「街を造る」



住宅地



No.1製品

宅地擁壁



防火水そう

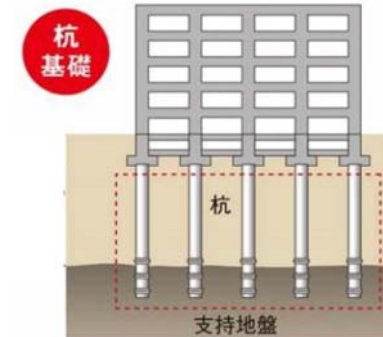


No.1製品

防火水槽



マンション等



パイル

防災

### 「落石から守る」

高エネルギー吸収型 落石防護柵



落石捕捉状況

ループフェンス



### 「土砂災害から守る」

近年頻発する大型台風やゲリラ豪雨による土砂災害の対策として需要の増加が見込まれます。

ループフェンスE(土砂対策用)





## 土砂対策用の製品性能検証公開実験



トヨタ自動車様との共同開発で

## 「油水分離機能付きユニフィルター」

がまもなく商品化されます



### 特徴

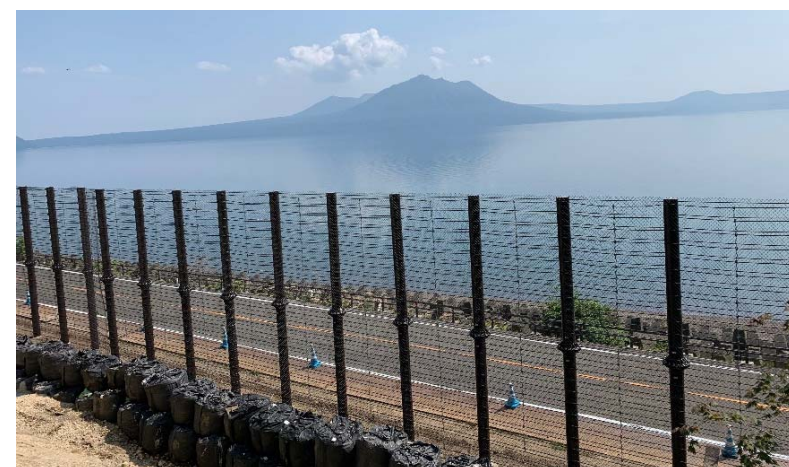
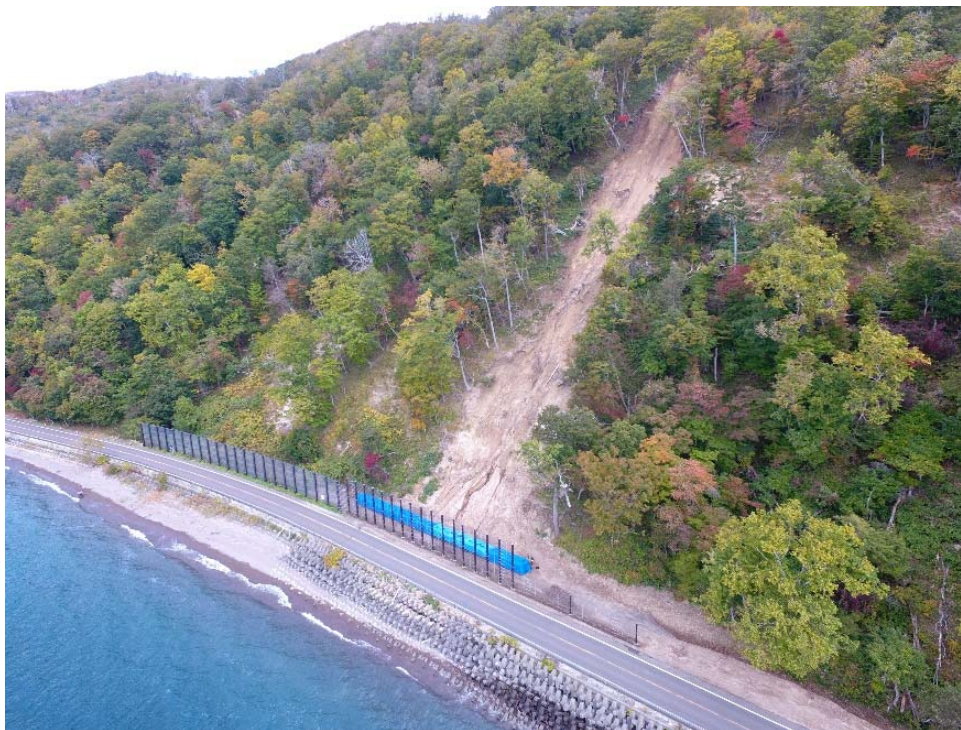
雨水排水から夾雑物を取り除く機能に  
油水分離する新機能が追加されました

### メリット

- ◆工場施設内の油交じりの雨水の再利用が可能になります
- ◆自然流下エネルギーのみ(無動力)で、分離・分別します
- ◆ランニングコストが抑えられます
- ◆環境に配慮し、SDGsの達成に貢献します

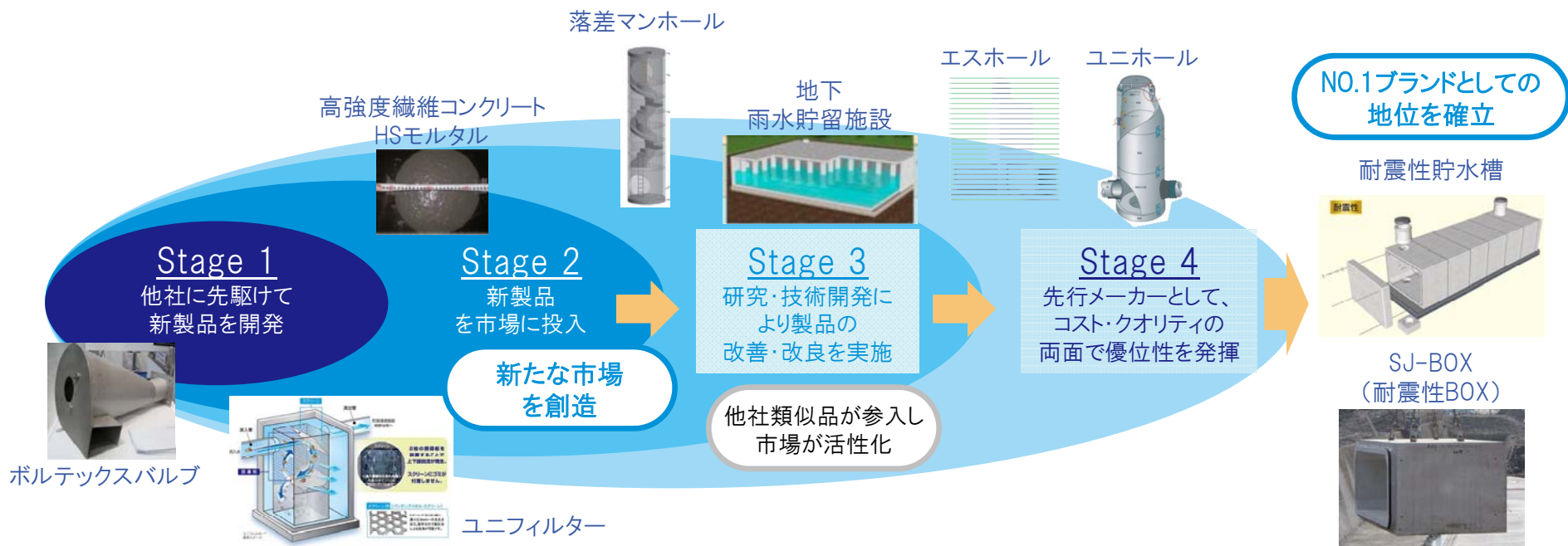


2018年台風21号によって発生した土砂崩れを受け、  
ループフェンスE(土砂対策用)を納入しました



発注者：北海道開発局  
札幌開発建設部  
千歳道路事務所様  
工事名：道路改良工事

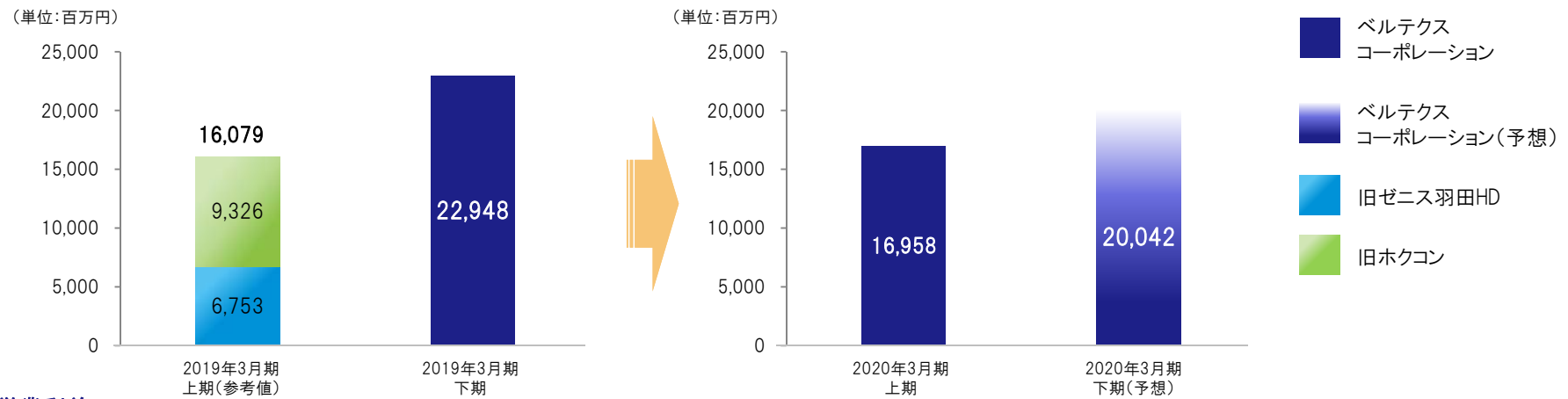
他社に先駆けて新製品を市場に投入することで優位性を発揮、  
No.1ブランドとしての地位を確立



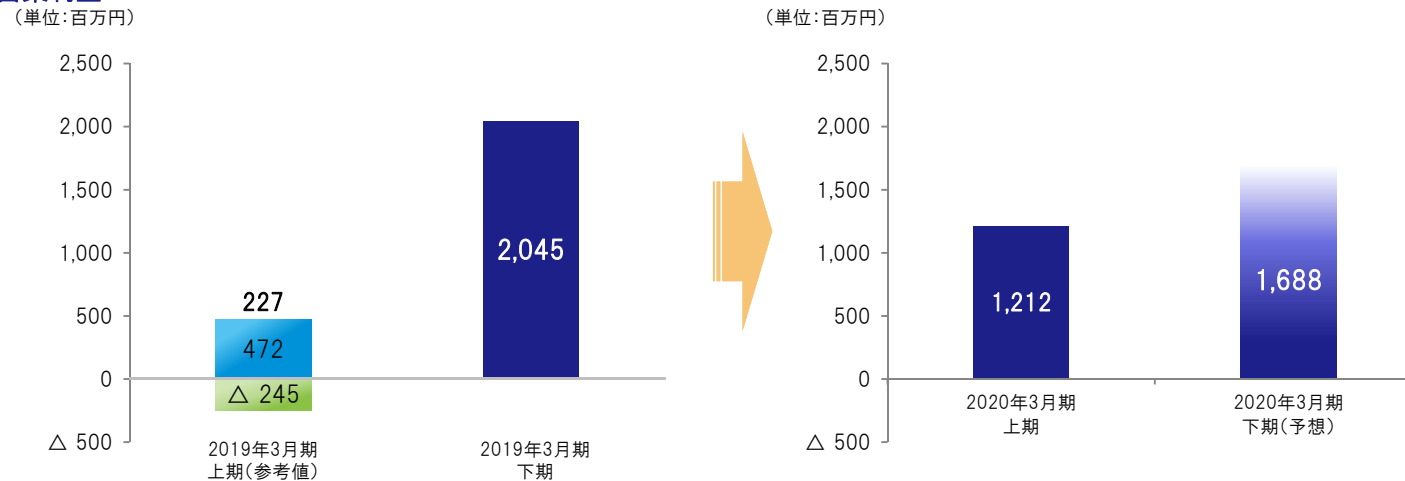
## 2-9. 当社決算の傾向

- 公共工事の受注等の理由により下期偏重です。

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



※ 2019年3月期上期は、旧ゼニス羽田HD分に、合併前の旧ホクコン分を単純合算した参考値です。

1. 事業紹介
2. 事業の特徴とつよみ

## 3 2020年3月期 第2四半期 決算概要

4. 中期経営計画の進捗  
参考資料



- コンクリート事業および防災事業の出荷量が順調に推移し、当初予想を上方修正。通期見通しに関しては当初予想から変更はありません。

(単位:百万円)	2020年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 通期予想	進捗	2019年3月期 第2四半期 (参考値)	前期比(参考)
			(率)		(率)
売上高	16,958	37,000	46%	16,079	105%
営業利益	1,212	2,900	42%	227	533%
営業利益率	7.1%	7.8%	—	1.4%	—
経常利益	1,299	3,050	43%	272	478%
経常利益率	7.6%	8.2%	—	1.7%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	887	2,000	44%	△ 161	—
当期純利益率	5.2%	5.4%	—		

※ 2019年3月期第2四半期(参考値)は、ゼニス羽田ホールディングスの2018年4月1日から2018年9月30日までの連結業績と、2018年4月1日から2018年9月までのホクコングループの連結業績を単純合算した参考値となります。

## 3-2. セグメント別業績と施策(コンクリート事業)

### コンクリート事業

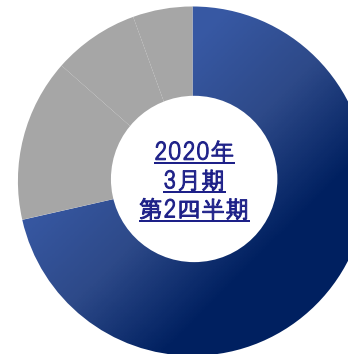
#### 事業内容:

マンホール、ヒューム管、ボックスカルバート等のコンクリート二次製品の製造・販売、その関連商品の販売、これら製品の据付工事、並びにメンテナンス



■売上高/構成比

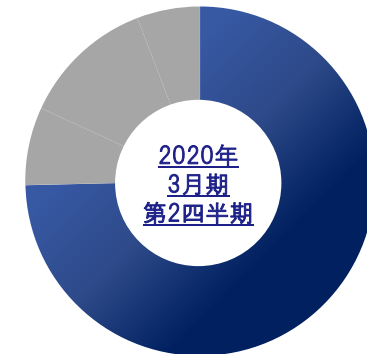
(単位:百万円)



2020年  
3月期  
第2四半期  
12,178 百万円  
71%

■セグメント利益構成比

(単位:百万円)



2020年  
3月期  
第2四半期  
1,406 百万円  
74%

※1. 売上高・セグメント利益は消去または全社費用の考慮を行っていない数値を記載しております。

※2. 売上高・セグメント利益構成比は、売上高・セグメント利益の合計値に占める比率を記載しております。

#### セグメント別施策と進捗:

- ◆ シェアNo.1製品:粗利率を維持したうえでの確実な受注の積上げ
- ◆ 浸水対策・メンテナンス・鉄道分野等の有望分野にも注力
- ◆ 差別化製品群による市場創造活動の継続



原材料、輸送費等のコスト増加分を適切に売価に反映するなどして粗利率を維持し、受注の積上げは堅調。



雨水地下貯留施設、雨水流量抑制装置、ダクトパネルライニング工法、高耐久性レジンパネル製品、高強度特殊モルタル製品(ホームドアスラブ)等の提案活動に注力。



発注者・設計コンサルタントへのPR活動、産官学共同研究提案等を継続中。

#### パイル事業

事業内容:

遠心カプレストレスコンクリートパイルの製造・販売、並びに杭打工事

事業会社:

ホクコンマテリアル

■売上高/構成比



2,566 百万円  
15%

■セグメント利益構成比



136 百万円  
7%

#### セグメント別施策と進捗:

- ◆ アライアンス強化による収益性の維持・改善



遠隔地物件について他社製品・当社工法による施工体制を継続・強化。

#### 防災事業

事業内容:

落石防護柵等の防災製品の製造・販売、関連商品の販売、並びに設置工事

事業会社:

ゼニス羽田  
ゼニス建設

■売上高/構成比



1,359 百万円  
8%

■セグメント利益構成比



232 百万円  
12%

#### セグメント別施策と進捗:

- ◆ 生産能力拡大・納期短縮による適時受注の拡大



納期短縮にまで至っていないものの、生産能力を増強し、受注は拡大。

- ◆ 落石防護分野での新製品開発



新製品の性能照査実験終了。10月より、営業活動開始。

- ◆ 砂防分野への進出



落石防護柵として開発したループフェンスを土砂用に改良し、販売。

### 3-4. 株主還元方針

- 配当と自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として、株主還元を実施する方針としています
- 自社株式は、346,700株を取得しました

		2019年3月期 実績	2020年3月期 予想
配当金	(年間)	70.0円	50.0円
	(期末配当)	50.0円	50.0円
	(当社創立記念配当)	20.0円	-
配当性向		33.4%	22.3%
総還元性向		42.4%	45%程度

※1.上記、2019年3月期の配当性向は、負ののれん発生益を除いたものとして算出しています。

※2.上記、2019年3月期の総還元性向は、旧ゼニス羽田ホールディングスで行った2018年5月21日～2018年6月15日までの自己株式取得総額91,655,900円を加味しています。



1. 事業紹介
2. 事業の特徴とつよみ
3. 2020年3月期 第2四半期 決算概要

## 4 中期経営計画の進捗

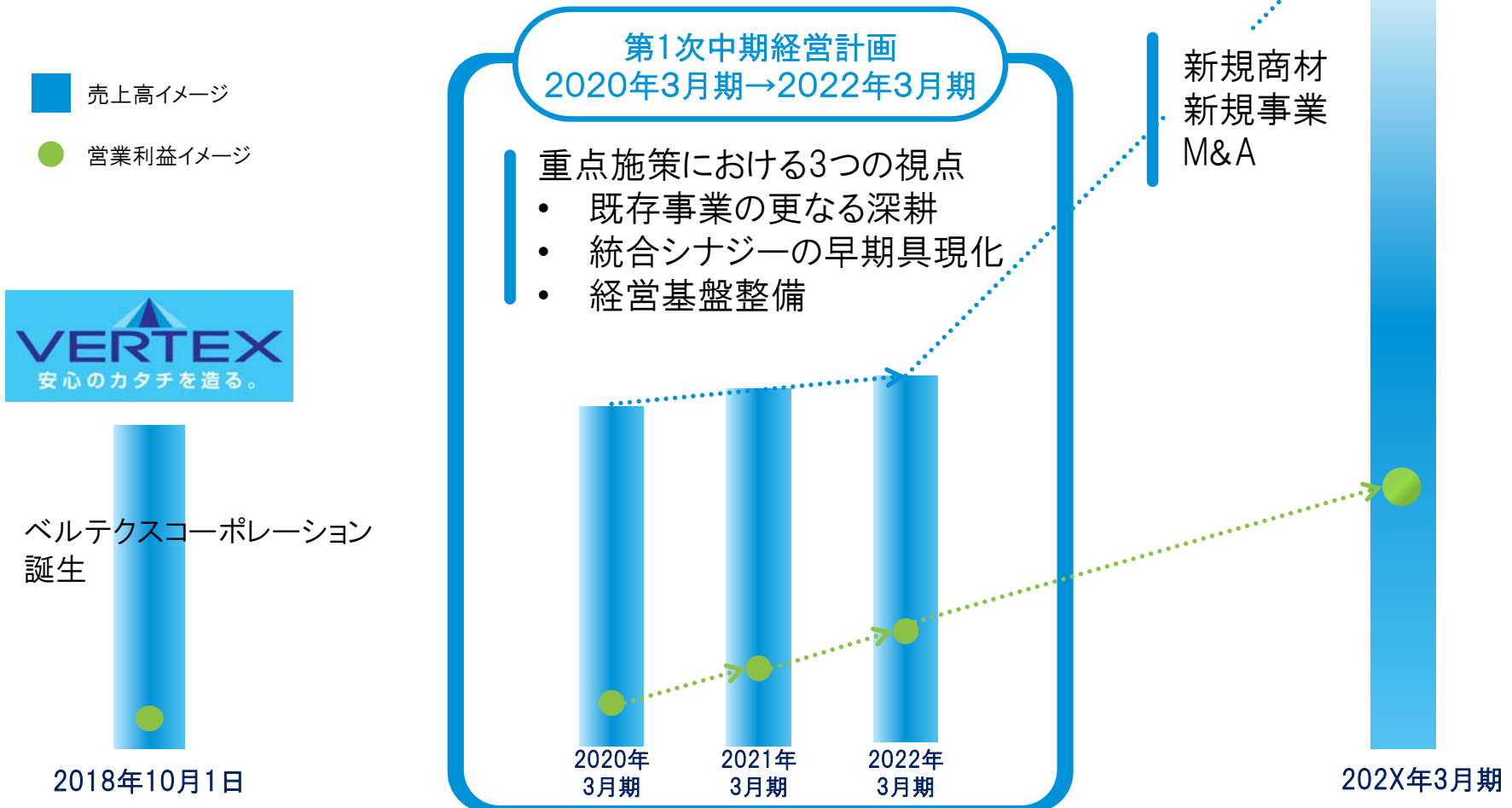
参考資料

# 4-1. 中期経営計画の基本方針と位置付け

## 第1次中期経営計画(2020年3月期→2022年3月期)

(基本方針)

- 持続的成長を可能とするための経営基盤整備に重点を置く
- 経営統合シナジーの確実な具現化を通じ、利益率の改善を図る



- 追風も吹きますが、これを受けきるための体制整備が重要と認識しています

### 外部環境

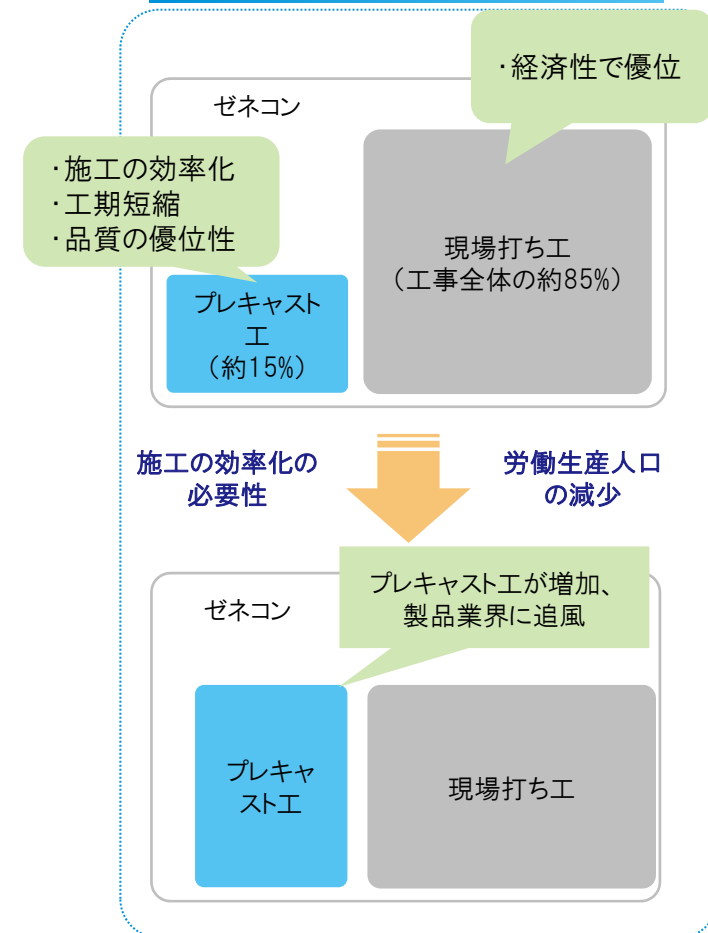
機会	脅威
建設現場の人手不足を背景としたプレキャスト化率の上昇(右図参照)	少子高齢化の進展・生産年齢人口の減少
大阪万博、IR(統合型リゾート)、リニア新幹線等の大型建設投資	東京オリンピック投資の終息
国土強靱化、防災・減災対策、社会資本の維持更新需要	コンクリート製品業界における供給過剰状態、過剰な競合企業数

### 内部環境

つよみ	課題
生産・販売体制を中心に、統合による効率化に余地	
高い技術力・設計力・開発力・営業力と広い顧客基盤	社員平均年齢の上昇、採用難
シェアNo.1製品、差別化製品を多数保有	コンクリート事業に続くコア事業の育成

### i-Construction

国交省が推進する建設生産システム全体の生産性向上を目指す取組み



## 4-3. 経営統合シナジーの進捗状況

- 下記事項を中心とした各種PMIプロジェクトを推進し、利益率の改善を図ります

発表時の施策内容

現在の進捗状況

### 施策1

- ◆ 主力製品の統一・販売品目の選別



- 耐震性防火貯水槽をホクコンブランドに、浸水被害軽減に寄与する耐震性ボックスカルバートをゼニス羽田ブランドに統一。

### 施策2

- ◆ 最適生産体制・最適販売体制の再構築



- ホクコン茨城工場を閉鎖、適地生産の拡大、生産品種絞り込み。
- 営業拠点の集約・統合、社員の相互出向、営業組織の一部変更。

### 施策3

- ◆ 研究開発テーマの共有・整理



- 研究開発テーマの共有は実施済み。
- 共同で行う研究開発テーマの絞り込み中。

PMIプロジェクト: Post Merger Integration Project

M&A(企業の合併・買収)成立後の統合プロセスのこと。新しい組織体制の下で当初企図した経営統合によるシナジーを具現化するために、企業価値の向上と長期的成長を支えるマネジメントのしくみを構築、推進するプロセスを実施するプロジェクト。

- 持続的成長を可能とするため、下記事項を中心に経営基盤の整備・強化に取り組めます

発表時の施策内容

現在の進捗状況

### 施策1

- ◆ 人材採用・育成プログラムの拡充・海外人材の活用



- 2020年4月より実施するグループ共通の階層別人材育成プログラムの全体構成を決定。
- 各人材育成プログラムの内容を検討中。

### 施策2

- ◆ 合併新会社に相応しい新人事制度の設計  
ゼニス羽田株式会社と株式会社ホクコンとの将来的な合併を視野に、多様な人材が活躍できる新人事制度を設計します



- 継続して検討中。

### 施策3

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備  
グループ間の情報共有による営業機会の創出、効率的な事業運営、多様な働き方等を実現するための整備を実施します



- 基幹系システムの統合に向けた各種情報整理、検討を実施中。

### 施策4

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築
- ◆ グループ内組織再編の検討  
既存事業とは異なるリスクを伴う新規領域への進出やM&Aに耐え得る体制を構築します



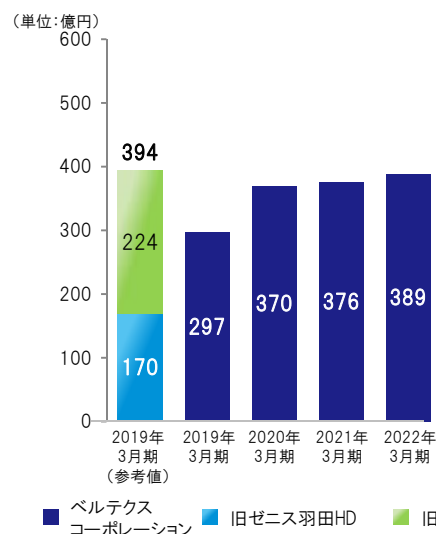
- 法務リスク管理体制を強化。また、当社及び全子会社の重要リスクと対応策を把握・評価する仕組みを導入。

## 4-5. 連結業績目標

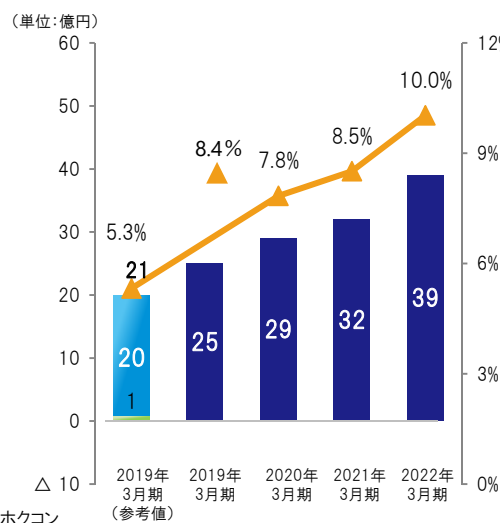
- 本中計最終年度(2022年3月期)に、営業利益率 10.0%以上、ROE 10.0%以上を目標とします

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	37,000	37,600	38,900
営業利益	2,900	3,200	3,900
営業利益率	7.8%	8.5%	10.0%
経常利益	3,050	3,370	4,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	2,200	2,640

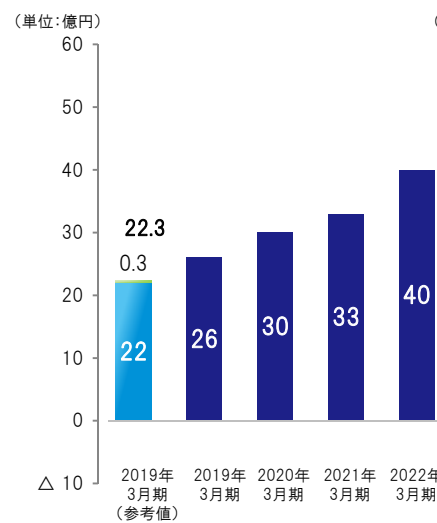
■ 売上高



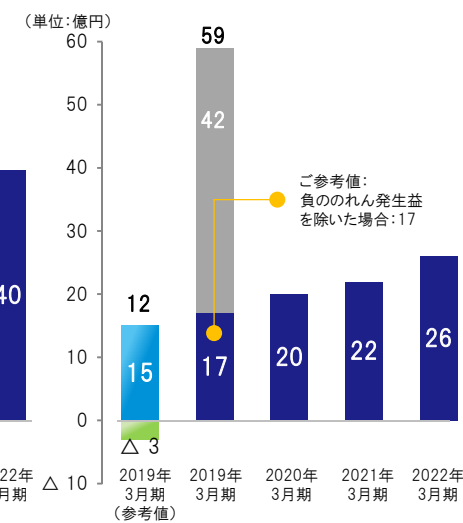
■ 営業利益/営業利益率



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



※ 2019年3月期(参考値)は、旧ゼニス羽田HD分に、旧ホクコン分を単純合算した参考値です。

## 4-6. セグメント別業績目標

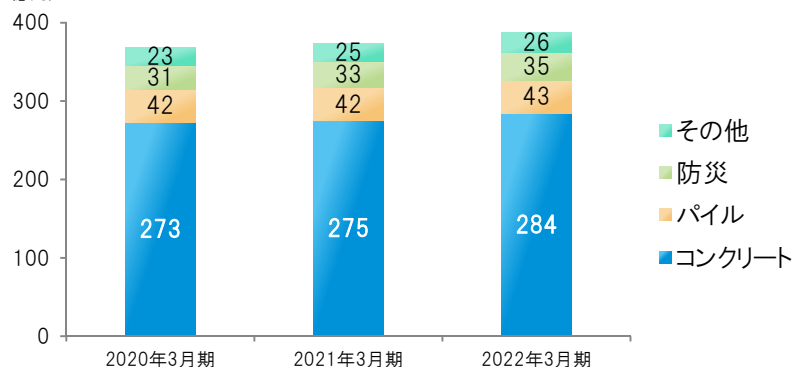
- コンクリート事業の利益率改善と  
防災事業の売上・利益成長の寄与が大きい計画となっています

■セグメント別売上高目標 (単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
■ コンクリート	27,360	27,550	28,430
■ パイル	4,200	4,250	4,300
■ 防災	3,120	3,300	3,500
■ その他	2,320	2,500	2,670

■セグメント別営業利益目標 (単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
■ コンクリート	2,980	3,160	3,650
■ パイル	80	100	120
■ 防災	590	600	700
■ その他	330	420	510
(調整額)	△1,080	△1,080	△1,080
連結	2,900	3,200	3,900

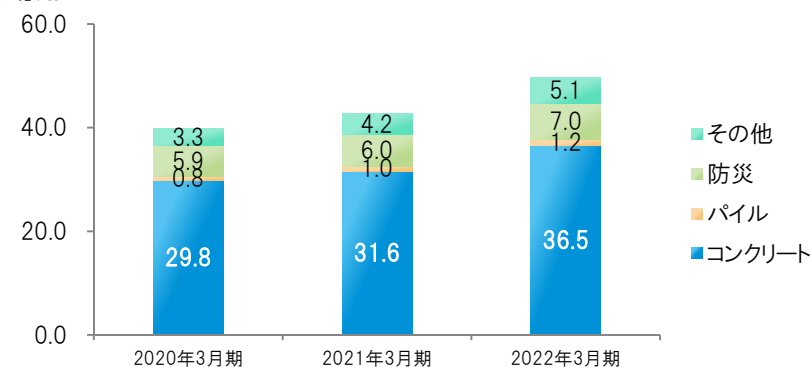
■セグメント別売上高目標

(単位:億円)



■セグメント別営業利益目標

(単位:億円)



1. 事業紹介
2. 事業の特徴とつよみ
3. 2020年3月期 第2四半期 決算概要
4. 中期経営計画の進捗

## 参考資料





会社名	株式会社ベルテクスコーポレーション
本社所在地	東京都千代田区麴町5-7-2
代表者	代表取締役会長 花村 進治 代表取締役社長 土屋 明秀
設立日	2018年10月1日 ゼニス羽田ホールディングス株式会社(現 ゼニス羽田株式会社)と株式会社ホクコンとの共同株式移転により設立されました
資本金	3,000百万円
事業内容	下記の事業を営む会社の株式の保有を通じた事業活動の支配・統括 ・コンクリート事業 ・パイル事業 ・防災事業 ・その他事業
従業員数	連結 1,138名(2019年3月31日現在)
上場区分	東証2部(証券コード:5290)

## VERTEX ベルテクスグループ ゼニス羽田株式会社



2018年 10月1日



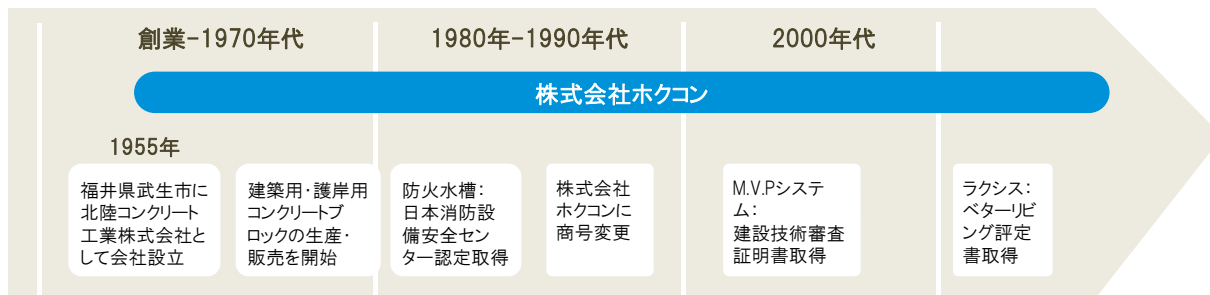
ゼニス羽田ホールディングスとホクコンは、共同株式移転の方法により、両社の完全親会社となる

## 株式会社 ベルテクスコーポレーション

を設立、経営統合により新たな事業グループを創設しました。

※ 2019年4月1日付でゼニス羽田がゼニス羽田ホールディングスを吸収合併しています。

## VERTEX ベルテクスグループ 株式会社ホクコン



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション  
経営企画室

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます。